

阿見町長 千 葉 繁 様

阿見町人と自然が織りなす輝くまち創生有識者会議

委員長 牧 山 正 男

第 2 期阿見町人と自然が織りなす、輝くまち創生「人口ビジョン」
及び「総合戦略」について（答申）

令和元年 7 月 17 日付け阿政秘第 88 号で諮問のあったこのことについて、当委員会で慎重に審議した結果、阿見町が目指す地方創生を推進する戦略として妥当であると判断し、答申します。

なお、戦略の推進に当たっては、当委員会の審議過程及び町民討議会などを通して寄せられた多くの町民の意見を十分に尊重するとともに、阿見町を取り巻く社会環境の変化と多様化する町民ニーズに的確に対応しながら、目指すべき将来に向け最善の努力をされることを希望します。また、総合戦略の実効性を高めるため、特に次の事項に配慮されるよう要望します。

付 帯 意 見

1 人口ビジョンについて

阿見町人口ビジョンで示されたとおり、町の少子高齢化の進行は、総合戦略の政策効果が発現したとしても、その歯止めに時間を要し、今後も続くことが想定されることから、移住定住の促進とともに、東京から 50km 強の優れた立地条件と恵まれた交通網等を活用した生活・経済圏の維持・確保や、生産性の向上に着実に取り組み、人口構成等の変化に適応したまちづくりを推進されたい。また、人口ビジョンが示す将来人口の展望を、町民をはじめとした関係者等と広く共有を図るとともに、町が策定する各種計画において、それぞれの目標の実現に向けた効果的な政策立案のための基礎資料として、十分に活用されたい。

2 総合戦略について

阿見町は、霞ヶ浦をはじめとした豊かな自然環境に恵まれ、農業が盛んであるとともに、3つの工業団地を有し、町内に 2 か所ある圏央道インターチェンジ周辺には、近年大企業の進出が相次ぎ、さらには、JR 荒川沖駅に近接した地域では、住宅地の供給も盛んに行われているなど、職住のバランスのとれたまちである。また、茨城大学農学部、茨城県立医療大学、東京医科大学茨城医療センター等の質の高い教育、医療に関する機関が集積している点も他にはない優れた特徴である。

これからのまちづくりにおいては、こうした町が持つ多くの魅力を、東京圏をはじめ内外に積極的に発信し、子育て世代を含む若い世代に「住んでみたい」「住み続けたい」と感じてもらえるまちづくりが重要である。加えて、高齢化社会を見据え、高齢者、障害者等にやさしい地域で支え合うまちづくりも欠かすことのできない視点である。

社会環境の変化とともに多様化する町民ニーズへの対応と地域の活性化を同時に実現していく上では、行政の力だけではなく、町民、NPO 団体、農業者、商工業者、観光業者、金融機関、大学、関係人口等の多様なステークホルダーとの積極的な連携と、その育成がこれまで以上に必要である。

それぞれの意見・提案を十分に取り入れ、信頼と共感を力として、第 2 期総合戦略を推進されたい。